

市議会議員 つじ隆一 議会活動報告

市議会会派立憲民主党仙台

(本庁舎7F)

TEL 214-8717 FAX 711-3453

NO. 129

〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東2-5-24 TEL 251-4064 FAX 253-2588

2026. 3. 30 発行

事務所 〒983-0031 仙台市宮城野区小鶴1-1-18-101 TEL・FAX 252-9511 E-mail : fureai@lilac.plala.or.jp

令和8年第1回 定例市議会開かる!

過去最大の予算規模

令和8年第1回定例市議会は、2月6日開会、3月12日閉会の日程で開かれ、一般・特別・企業各会計の令和8年度の予算案など計76件の議案審査を行いました。

開会日の冒頭、郡市長は「人が集い、笑顔が広がり、その連鎖がまちの魅力となって世界から選ばれるまち」の未来を描き、「社会の変化が激しく、先が見通せない時代だからこそ、先手を打つ」と新年度の市政への決意を示しました。

その上で、「こども・若者を育む」「世界に誇れるまちを創る」「共生のまちを築く」の3つの柱に重点的な予算配分をしたと説明しました。

令和8年度の一般会計は、対前年度比549億円増の7,306億円で過去最大の予算規模となりました。その財源は、個人市民税が対前年度比38億円、固定資産税が同34億円増に加えふるさと応援寄附(31億円)、国の財政措置が講じられる市債(84億円)等で措置されるものの、財源不足は405億円となりました。その不足分を財政調整基金149億円の取り崩し、特例的対応の市債管理基金等からの約150億円の借り入れなど、将来的に不安を残す綱渡り的な財政構造も明らかとなりました。

小学校給食費・第2子以降の保育料無償化

主な予算編成の内新規事業等では、市長が掲げる第1の柱「こども・若者を育む」に

◎所属等(9月～)◎

- ◇総務財政委員会委員
- ◇未来の都市交通調査特別委員会

令和8年第2回定例市議会

6/11～26

※傍聴をお願いします。

小学校学校給食の無償化、第2子以降の保育料の無償化、子ども医療費の18歳までの助成拡大、



令和8年度の施政方針を述べる郡市長

西公園への屋内遊び場整備、児童クラブ待機児童ゼロ、仙台若者会議、若者フォーラムの開催などに1,188億円が計上されました。第2の柱「世界に誇れるまち」に国際的企業の誘致、アジア太平洋防災閣僚級会議(9年度)開催準備、住宅への太陽光発電導入等補助などに914億円、第3の柱「共生のまちを築く」に救急医療搬送体制強化(小松島)、ドクターカーの導入(オープン病院)、難聴高齢者補聴器購入補助、敬老乗車証対象交通機関拡大、マンホールトイレ整備、クマ対策パッケージ推進などに1,938億円が計上されました。

その他、(仮称)ケアラー支援条例の制定、低所得者児童の学習塾費用助成、小中学校の水泳授業の民間移行、観光促進事業、外国人住民実態調査、全市の住民登録やパスポート関連事務を扱う拠点「(仮称)仙台シティフロントセンター」整備なども盛り込まれました。

子ども医療費助成 18歳まで拡大

令和7年度一般会計補正予算案では、国の補正予算等への対応として、ダイバーシティ推進経費、情報化推進費、起業家スタートアップ支援事業費、道路改良費、小学校校舎建築・大規模改修費の追加など118.7億円、物価高騰対策としての市有施設(指定管理)運営管理費の追加、子ども医療費助成経費、市庁舎整備基金積立金などに32.6億円、計151.3億円が計上されました。一方、令和7

年度予算から8年度への移し替え、7年度予算における不用額が142.9億円減額されたため、計13.8億円の減額補正となりました。

市バス運賃改定は10月から

条例改正案では、新築建設物への太陽光発電設置促進制度の導入、資源循環都市づくりなどを盛り込んだ仙台市環境基本条例（杜の環境プラン）及び地球温暖化対策の推進に関する条例改正、仙台市土地開発基金から100億円拠出して仙台市魅力活力創出基金条例の制定、マンション管理の適正化推進条例の制定、これまでの「災害時要援護者情報登録者制度」を「避難行動要支援者名簿制度」に変更する防災・減災のまち推進条例の改正案が上程されました。また、職員を207人増員（福祉事務所、消防、教職員等）する定数条例、交通指導隊の休隊制度を新設する条例改正、敬老乗車証制度における回数券方式の導入（愛子、タケヤ交通）、秋保児童館の新設、「こども誰でも通園制度」の本格実施に伴う条例改正、音楽ホール等建設のための青葉山交流広場・駐車場を廃止する観光交流施設条例の改正、学校給食無償化に伴う条例改正、市バス運賃改正（8年10月～）に伴う運賃条例改正案なども提案されました。

工事請負契約の締結に関する件では、生田地域複合公共施設新築工事、市役所本庁舎給排水設備工事費の追加補正が上程されました。また、エル・パーク、エル・ソーラ仙台、健康増進センター、子育てふれあいプラザ、仙台市体育館等の指定管理者指定の件も提案されました。

人事案件では高橋副市長の再任、固定資産

評価審査委員の選任、人権擁護委員候補者の推薦、監査委員の選任に関する件は承認されました。

音楽ホール等複合施設整備に 議論集中

青葉山公園に音楽ホールと中心部震災メモリアル施設整備が本格化へ走り出しました。令和5年に「文化芸術と災害文化の融合した施設」基本構想が策定された後、昨年11月に基本設計（中間案）が示されました。その際の整備費は548億円でしたが、今年2月に示された事業計画案では、2,000人規模の大ホールを高さ制限に配慮して地下に整備することや地下鉄東西線の騒音・振動対策、各種施設備品等を加えると646億円となることが報告されました。市議会ではこのかさむ整備費等や市民理解の不足などに対して議論が集中しました。

会派立憲民主党仙台では、市財政への影響の懸念の払拭、事業費の圧縮は勿論のこと市民への説明責任の徹底などを進めつつの整備を求めていくこととしています。

【一般会計予算への附帯意見】

令和8年度一般会計予算における青葉山エリア複合施設に要する経費の計上に対して会派も含む4会派で提出した附帯意見が賛成多数で可決されました。

その趣旨は、「青葉山エリア複合施設整備に係る財源の適切な確保および事業費の縮減に最大限務めるとともに、事業の必要性や妥当性について市民に対し丁寧かつ十分な説明を行った上で、適切に事業を執行することを強く求める」というものでした。

【採択された意見書】

- 「特別市（特別自治市）制度の早期実現を求める件」
- 「太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄物処理体制の確立を求める件」
- 「安全保障上の不適切な土地取得・利用を防止するための法整備を求める件」



世界的な建築家藤本壮介氏設計の音楽ホール等複合施設

予算等審査特別委員会で 取り上げた政策・課題等

健康福祉費－児童館行政

○児童クラブの待機児童ゼロに向けた取り組みにおいて、登録児童数はこの5年間で2,500人ほど増加しており、登録希望者の更なる増加への対策。



○児童館、サテライト等での児童の生活する環境について、面積基準の拡大と学校での受け入れの際の特別室等の暑熱対策にも意を用いていくべきこと。

○勤務する職員の体制の課題について、児童館における人員不足を含む職員体制は深刻な、長年の課題で、待機児童解消に伴う拡大対策。

○非正規雇用職員の問題、要支援児の拡大に伴う職員不足、児童館・児童クラブで働く職員の待遇改善の問題は全児童館を取り

巻く課題で、指定管理料を含む抜本的な対策。

教育費－部活動の地域展開

○中学校の部活動の地域展開について、土日祝日を担う認定地域クラブの人材確保策。

○認定地域クラブの土日祝日の活動の場について、外部の方が学校で活動する場合の文化部の校舎内使用にかかるセキュリティの課題等について。

○教員が認定地域クラブの指導者として土日祝日も指導するという場合の報酬、兼職規定等との関係について。

○地域クラブ活動における保護者の受益者負担増への対策。

○学校開校日の教員の顧問が部活動の指導を行うが、地域の指導者の指導方針との齟齬等への対応について。

○部活動は教育の一環であり、部活動があるから登校できているという生徒もいるが、地域展開に当たっての配慮について。

令和8年度一般会計に見る主要施策

こども・若者を育む

- 仙台若者会議開催
- 次世代起業家等育成支援
- 体験格差是正パウチャー事業
- 中高生年代居場所づくり
- 小学校給食費完全無償化
- 第2子以降の保育料無償化
- 5歳児健康診査モデル事業
- のびすく仙台の移転拡充
- 国際的視点の教育推進
- いじめ防止等対策推進
- 不登校児童生徒等支援
- 学校における働き方改革推進
- ICT教育推進

世界に誇れるまちを創る

- 青葉山エリアのまちづくり
- 勾当台・定禅寺通エリアのまちづくり

- 起業家・スタートアップ支援
- 震災の経験と教訓の継承・発信
- 都心まちづくり推進
- 仙台観光魅力創出
- 東北連携推進
- インバウンド推進
- 商店街活性化推進
- 企業立地促進
- 脱炭素都市づくり等推進
- 地域づくりパートナーシップ推進
- 海浜エリア活性化
- 百年の杜づくり推進

共生のまちを築く

- ダイバーシティ推進強化
- 外国人住民実態調査実証事業
- （仮称）仙台シティフロントセンター設置準備
- 医療提供体制調査検討

- 救急体制整備
- 医療型短期入所送迎支援
- 難聴高齢者補聴器購入費助成
- 敬老乗車証対象交通機関拡大
- （仮称）ケアラー支援条例によるケアのまち推進
- 民生委員活動支援
- ヤングケアラー支援
- ヘルスケア向上推進
- 男女共同参画の総合的推進
- 多文化共生推進
- 野生鳥獣対策
- 防災・減災対策等の推進
- 消防団充実強化・活性化
- 総合的な浸水対策
- 公共施設マネジメントの推進

職員の意識改革と行政運営

- Full Digitalの市役所
- 人材育成推進・組織力強化
- 大都市・地方分権制度推進

教育費－(仮称)仙台国際探求ラボの整備

○職業体験、自分づくり教育の場としての位置づけについて。

○将来設計に関する学習としてのファイナンスパークを学校での取り組みに移すことについて、また(仮称)国際探求科の実施や新たに帰国・外国人児童生徒への支援学びの場に影響、教職員の負担増など弊害対策について。

総括質疑で、指定管理科に9年度より物価スライド制導入を答弁！

○入札不調・不落対策と市の業務委託等の指定管理料等において物価スライド制の導入を図るべきこと。

○(仮称)仙台シティフロントセンターをアエル5Fに令和9年度より整備するにあたり県

から権限委譲を受けるパスポート事務、住民登録事務などのあり方。

○クマ被害防止対策パッケージにおける川、沼対策、広報のあり方、職員の危険手当等の課題について。

○4病院再編問題について、県内のがん治療の将来、八木山地区の医療提供体制、東北医科薬科大学付属若林病院の移転後の対策、仙台医療圏における市長のリーダーシップを発揮すべきこと。

○音楽ホール等複合施設において、設備の縮小の課題、施設を起点とした音楽・芸術のアウトリーチ、出前講座等教育的視点の課題、飲食できる施設、経費節減、工期短縮の課題、ミニチュア模型などでの市民理解の促進、市民への皆様への丁寧な説明責任を果たすべきこと。

「未来の都市交通調査特別委員会」 他都市視察

1月14～15日、市議会の地域交通や7年度も4地区で実証運行も行われた自動運転などを調査研究する「未来の都市交通調査特別委員会」の他都市視察が行われました。

1日目は、愛知県新城(しんしろ)市を訪れ、山吉田地区における地域主体の移動手段「山吉田ふれあい交通」という地域交通について説明を受けました。また、「地域自治区制度」によるまちづくりに基づく地域毎の状況に即した「くらしの足」の確保に向けた持続可能な地域の移動手段の確保や、「新城市地域共創型公共交通システム」に取り組む地域公共交通会議などについても説明を受けました。

2日目は、愛知県が進める自動運転に係る取り組みについて経済産業局次世代モビリティ産業課より説明をうけました。その目的は、自動車産業の振興、モビリティDXの推進



名古屋市のロボットタクシー

を目指す次世代産業の振興、人手不足への対応、交通不便地における移動手段の確保など地域諸課題の解決を基本としているとのことでした。その具体的な取り組みとして、名古屋市内のロボットタクシー、知多半島エリアの自動運転高速バス、地球博記念公園の園内バスの無人化などでした。そして、実際に名古屋市内の事業所～JR名古屋駅間をロボットタクシーに体験試乗することもできました。

主な活動日誌

- 1. 5 仙台市新春の集い
- 1. 6 消防出初め式
- 1.10 生協メンバーと宮城野区選出議員懇談会
- 1.14 未来の都市交通調査特別委員会他都市視察
(～15日 愛知県新城市、名古屋市)
- 1.21 総務財政委員会
- 1.28 第1回定例会市議会議案説明・市議団「市政・予算要望」への当局回答
- 2. 6 令和8年第1回定例会市議会開会
- 2. 8 衆議院総選挙投票日
- 2.12 議員団会議
- 2.13 市議会本会議(～19日)
- 2.20 総務財政委員会
- 2.24 市議会予算等審査特別委員会(～3月9日)
- 3. 7 西山中卒業式
- 3. 9 算等審査特別委員会で総括質疑
- 3.11 東日本大震災犠牲者追悼式
- 3.12 令和8年第1回定例会市議会閉会
- 3.18 未来の都市交通調査特別委員会
- 3.19 燕沢小学校卒業式
- 3.30 市議会活動報告(No.129)発行